

# PCフォーラム

JA土浦パソコン研究会会報 2017年5月号

事務局：JA土浦本店 営農部営農企画課

住所：土浦市田中1-1 電話：823-7001

ホームページ <http://www.dappe.com/>

ブログ <http://dappe.chicappa.jp/japc/>

メールアドレス [japc1@dappe.com](mailto:japc1@dappe.com)



定例会予定 毎週火曜日 午後7時30分から

- 5月9日 エクセル・会計など
- 5月16日 カービング、デジカメ講座など
- 5月23日 エクセル・ワードなど
- 5月30日 簿記講座 18時より(申込み必要)、その後スマホなど
- 6月6日 エクセル、ワードなど
- 6月8日 撮影会

## ◆ごあいさつ

会長 小林 芳行

皆さんこんにちは。ゴールデンウィークも過ぎ、田植えやレンコン植えなど農作業も忙しい季節を迎えていますね。皆さんそれぞれ身体に気をつけてご精進ください。平成29年度もよろしくお願いいたします。

定例会内容は変わることがあります。ワンポイントレッスンで、何か1つでも覚えていただければよい行いますので、ファイルやフォルダー、WINDOWSの基本操作、メールやマージングリストの使い方など初心者向けにも行っています。

上級者はマージングリストにWEB問題としてエクセルなどでの作成問題を出していますので家でやってみて手例会でみんなで教えあう形で進めていきます。

さて、このたび6月8日(木)にデジカメ撮影会を開催することになりました。行き先は群馬県の富岡製糸場です。JAの車を利用しますので定員の都合上早めのお申し込みをお願いいたします。なお参加者は、後日定例会に写真をファイルのままかまいませんのでご持参いただき鑑賞会にも参加していただくようお願いいたします。

## ◆募集要項 デジカメ撮影会 富岡製糸場

6月8日(木) AM9時 JA本店出発

会費 2,000円

締切 5月30日

(定員に達した場合は早めに締め切ることがあります)

定員 15名

## 特集 富岡製糸場

今月は撮影会に予定している富岡製糸場です。

◆富岡製糸場は、明治5年(1872年)に明治政府が日本の近代化のために設立した模範器械製糸場です。

明治維新後、政府は日本を外国と対等な立場にするため、産業や科学技術の近代化を進めました。そのための資金を集める方法として力を入れたのが、生糸の輸出でした。政府は生糸の品質改善・生産向上と、技術指導者を育成するため、洋式の繰糸器械を備えた官営の模範工場をつくることを決めました。

こうして富岡製糸場が建設され、現在までほぼ変わらぬ姿で残されています。



◆●09時00分～17時00分(最終入場 16時30分)

### 【休場日】

●年末(12月29日～31日)

見学料(入場の際必要です)

個人料金

大人 1,000円

高校・大学生(要学生証) 250円

小・中学生 150円

\*未就学児は無料です。

\*障害者手帳をお持ちの方と介護者(1名)は無料です。

\*高校・大学生は学生証を提示してください。

\*富岡市民は入場無料です。

住所が確認できるもの(運転免許証など)を提示してください。

●ガイドツアー 参加(解説員による解説) 200円

音声ガイド機 貸出200円

## 西置繭所保存修理工事見学施設

ヘルメット貸出料 200円 100円

- ・ガイドツアーは、解説員がおおよそ40分ほどかけて場内をご案内いたします。
- ・音声ガイド機はご自分のペースで解説を聞きながら場内を見学することができます。



◆「富岡製糸場と絹産業遺産群」は、平成19年1月世界遺産暫定一覧表に追加記載されました。その後、平成24年8月には日本政府が「富岡製糸場と絹産業遺産群」の推薦を決め、ユネスコ世界遺産センターへ推薦書が提出されました。(暫定版:平成24年9月提出、正式版:平成25年1月提出)

提出された推薦書にもとづいて、世界遺産委員会の諮問機関である国際記念物遺跡会議(ICOMOS:イコモス)が書類審査をおこない、平成25年9月には、現地調査が実

施されました。

平成26年4月にはイコモスより「富岡製糸場と絹産業遺産群」は、「世界遺産一覧表」への記載が適当である旨、いわゆる「登録」の勧告がありました。そして、同年6月カタルのドーハで開かれた第38回世界遺産委員会で「富岡製糸場と絹産業遺産群」は「世界遺産一覧表」へ記載され、世界遺産登録となりました。

### ◆【編集後記】

「富岡製糸場と絹産業遺産群」の顕著な普遍的価値  
「富岡製糸場と絹産業遺産群」は、長い間生産量が限られていた生糸の大量生産を実現した「技術革新」と、世界と日本との間の「技術交流」を主題とした近代の絹産業に関する遺産です。日本が開発した生糸の大量生産技術は、かつて一部の特権階級のものであった絹を世界中の人々に広め、その生活や文化をさらに豊かなものに変えました。

### ◆【編集後記】

パソコン研究会の撮影会は機材を指定するわけではないので、今までもコンデジ、デジタル一眼レフ、ミラーレス、スマホ、タブレットなどいろいろ利用して撮影してきました。要は撮影した写真ファイルを色具合を調整、印刷、トリミング、リサイズ、ホームページやブログに利用などそれぞれが自分の目的に合ったように自由自在に使いこなせるのが撮影会の成果だと思うのです。

圏央道が開通しました。交通状況により北関東道とどちらかを選択して往復したいと思います。ご参加お待ちしております。(みやざき、こばやし)

